■ 問題の内容

•

•

ウイルスセキュリティ ZERO をご利用の場合、Mulka2 インストール時に「ウイルスの処理について」という画面が 表示されます



インストール後、デスクトップに作成される Mulka2 のアイコンをダブルクリックしても、エラーが発生しうまく 起動しません

| Mull Mulka | 2 |
|------------|--|
| الله بر | エラー 1304 ファイル: C:¥Program Files¥Mulka2¥MulkaOnlineBridgeClient2.exe への書き込み 時のエラーです。そのディレクトリへのアクセス権を確認して ください。 |
| | 再試行(R) キャンセル |

■ 原因

- ウイルスセキュリティ ZERO が Mulka2 を構成する3 つのファイル「EmitOnline.exe」
 「MulkaIntermediateClient2.exe」「MulkaOnlineBridgeClient2.exe」をウイルスに感染していると誤認識してし まうことが原因です
- いずれのファイルも、中間ラジコン通過情報をサーバと通信するプログラムで、外部と通信することからウイルス
 と認識されてしまうようです
- ・ これらは中間ラジコンを利用しない場合は必要ありませんが、Mulka2 起動時に Windows によるチェックが行われ、 ファイルが無い場合うまく起動できません
- ・ 対策としてウイルスセキュリティ ZERO に対し、上記ファイルをウイルスチェックしないよう設定します

- 解決方法
 - ・ Mulka2 をインストールする際、ウイルスセキュリティ ZERO の機能を停止してからインストールを行います
 - 機能の停止はタスクトレイ(通知領域)に表示されるウイルスセキュリティ ZERO のアイコンを右クリックし、表示されるメニューにある「すべての機能を無効」をクリックして行います
 ウイルスセキュリティ ZERO のアイコン : ○
 - ・ インストールが終了したら、再びタスクトレイ(通知領域)にあるウイルスセキュリティ ZERO のアイコンを右ク リックし、「設定とお知らせ」をクリックして画面を表示します
 - ・ 「ウイルスとスパイウェアから守る」タブをクリックし、画面右側にある設定ボタンをクリックします

| ウイルスセキュリティ | |
|--|---|
| SOURCENEXTStyle ウイルスセキュリティ ZERO | アップデート ② ヘルプ |
| 現在の状態 ウイルスの検査 定期検査 ・ ウイルス自動検知 無効 ・ ウイルスとスパイ ・ ・ ウイルスとスパイ ・ ・ ウイルスとスパイ ・ ・ ウイルスとなりが 無効 ・ ウイルスとなりが 無効 ・ ウイルスとスパイ ・ ・ ウイルスとスパイ ・ ・ ウイルスとスパイ ● ・ ウイルスとスパイ ● ・ ウイルスとスパイ ● ・ ウイルス定義ファイル 922381 ・ ノニュー ・ ・ レートキットの検査 ・ ・ システム防御の履歴と変更 ・ ・ ● ● ・ システム防御の履歴と変更 ・ ・ ● ● ● ・ ● ● ● ・ ● ● <t< th=""><th>ウイルスとスパイウェアから守る ウイルス自動検知は、パソコン を常時監視し、ウイルスやスパ イウェアを自動で処理します。 ウイルス自動検知は現在無 効です。 >>> 有効にする 設定</th></t<> | ウイルスとスパイウェアから守る ウイルス自動検知は、パソコン を常時監視し、ウイルスやスパ イウェアを自動で処理します。 ウイルス自動検知は現在無 効です。 >>> 有効にする 設定 |
| ●プログラムバージョン:100.0039 | |

・ ウイルスオプション画面の「検査したくないファイル、フォルダを指定する」をクリックします。

| ウイルス自動検知は、アク セスを行なうたびに、自動で 検査します。そして、ウイル スに感染しているファイルを 駆除、または隔離します。 詳細はヘルプをご覧くださ い。 | | - パソコン起動時に開始する ▼ パソコン起動時に自動作動 | | | | |
|---|--|--|---|----------------------------|-----------------------------------|-------------------------|
| | | ーウイルスれ ● 全立 ● 自動 ● 特別 図 スパ ■ ネッ | 検査対象 ファイル 姉認識 との拡張子 パウェア、アドウェア、 トワーク上のファイル | <u>検査した</u> 。 リスクウェアの検査 | くないファイル、フォルダを <u>ユーザー設定はこち</u> | <u>指定する</u> <u>ち</u> |
| | | ウイルスが見つかった場合の対処方法 ● 自動駆除。駆除できない場合は削除 ● アクセスを拒否 | | | | |

- ・ 表示された画面で「ファイルやフォルダを追加」をクリックします
- ・ 「フォルダを追加する」をクリックし、Mulka2 をインストールしたフォルダを選択します。
- ・ 「ウイルス自動検知対象にしない」「手動検査の対象にしない」「サブフォルダも含む」にチェックをいれて、OK ボ タンをクリックして下さい。

| ウイルスセキュリティ - 検査対象からはずす | × |
|--|-----------------|
| 検査対象からはずしたいファイルやフォルダを下のアイコンをクリックして打かたを下のチェックボックスから選びます。 | 皆定した後、検査のし |
| | ④ <u>ヘルプを開く</u> |
| C.¥Program Files¥Mulka2 | |
| | |
| ✓ ウイルス自動検知の対象にしない ✓ 洋動検査の対象にしない | |
| ▼ サブフォルダも含む | |
| | *かけル |
| | |

・ 以上で設定は完了です。ウイルスセキュリティ ZERO の機能を有効に戻してください。